

# 老

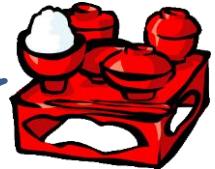
# 娘

妙智寺 寺報 6月 213号

## 仏事あれこれ

Q、朝食はパンなのですが、お仏飯はどうしたらよいのですか？

A、お仏飯とは、朝一番に仏さまにお供えするお膳、とくにご飯のことをいいます。



「膳」としては命日などに

仏具の中でも、ご飯を盛りつける専用の「仏飯器」があるほどです。ご飯を炊いたときには、最初にご飯をお供えするようにしましょう。

「朝食はパン」というご家庭も多いでしょう。ご家庭がパン食であるのならば、お仏飯の代わりにパンをお供えしていただきても差し支えありません。

何はともあれ、真心を込めて、<sup>きゅうじ</sup>給仕するという姿勢が大切です。

形に捉われず、仏さまやご先祖が「そこに居る」という念で、ともに生活しているという気持ちを忘れず、向き合いましょう。

### 膳以外のお供えの例

肉魚以外のもの・頂いたもの・給料明細(感謝の意)・畠で収穫したもの  
処方している薬(仏さまからの薬とする)、などなど・・

「教えることは 習うこと

どちらも 何度も繰り返し」

仏教とは、いうまでもなく仏さまの教えのこと。

でも、その教えを、なかなか守れないのが、私たち凡夫です。（知らなければ、守るろうとすることすら出来ませんが・・・。）

その教えは、ズバリ！ 幸せになれる教えです！）

仏さまも、時として匙を投げたくなられるのではないでしょか・・・。

はるか昔、お釈迦さまは菩提樹の木の下でお悟りをお開きになられました。その悦びと同時にお釈迦さまは、ふとお考えになったそうです。「私が悟り得た、この真理を、人々が理解するのは難しいかもしれない」と。六ヶ年もの間、修行し、やっと到達された真理の世界ですので、そうお考えになったとしても、無理からぬこと。

その時、梵天という神さまが、お釈迦さまにかたりかけました。「世尊よ、どうか勇気をもって、真理をお説き下さい。泥の中から咲き続ける蓮華のように、世の中には、あなたの教えを受けて、悟りの華を咲かせる者もいるでしょう」

この梵天の声に励まされ、立ち上がり、説きはじめられたのです。



それから四十余年、ただひたすらに伝道の旅を続けられたお釈迦様。教えることが、どんなに大変なことかを体験なさったのは、先ずは、お釈迦さまご自身だったのではないでしょうか。。。

それでも、慈悲深く、平等に説き続けられました。

例えば、小学一年生から習う算数のように、最初は「足算」つぎに「引算」、「掛算」「割算」と年齢に順じて段階的に分かりやすいように。

そして、最後に「方程式」を教えられるのです。

方程式以前の算数は、ほかのお経(修派)で、一番学んでほしい方程式が『妙法蓮華経』なのです。

それまで四十余年かかりました。それでも説きたかったのは・・・。

みながイキイキと生きて、幸せになってほしいが為なのです。

★第91回 妙智寺和讃会は  
6月14日(日)午前9時 和讃講習  
午前10時 生け花講習  
お花の準備があるので欠席の方は7日までにご連絡下さい

## 5月の妙智寺 月例の回向(訪問型・来山型)は省略

5/6 車祈祷	5/8 某氏 葬儀執行
5/10 施餓鬼 9件	5/12 某氏 葬儀 歎徳文 諷唱
5/16 七回忌法事	5/19 回忌法事
5/19 43回忌	5/31 安産祈祷

## 6月 行事予定

新型コロナウイルス拡大防止として、発令されていました非常事態宣言が、福井県を含む39県が解除(5/14)されたのを受け、6月より各お参りを通常通りに行うことにいたします。

仏さまやご先祖のことは「如来事」と申します。

必ずお計らいがあることと信じ、最大限の予防対策をさせていただきつつ、厳修いたします。

※マスク着用・本堂(玄関も可)入堂時は除菌・間隔をとって着座  
お元気なお姿をお見かけするのを愉しみにしております。

合掌



□ 6月 1日(月) 午後2時 月例水子供養会

□ 6月 7日(日) 午後2時

月施餓鬼・鬼子母神祈祷会

※4月から令和2年度の経木塔婆供養が始まっています。未申込の方はご確認下さい

※特別供養・祥月命日供養、塔婆供養いたします。

※方除け守祈願。寝室に貼る守り。申込、同封。

□ 6月 14日(日) 午前7時 月例 唱題行・法話会

□朝参り修行 毎週日曜日 午前7時 ※5月24日・31日から再開